

甲佐町議会だより

第121号



清流

平成19年6月1日

発行 甲佐町議会

3月定例会



甲佐町立緑川保育所の入園式

議会構成も新たに	②～③
平成19年度各会計予算可決	④～⑤
論点 Q & A そこが知りたい	⑥～⑦
一般質問5人 ここが聞きたい	⑧～⑫
甲佐町議會議員の倫理に関する決議・建物補償調査特別委員会	⑬
傍聴席から一言	⑭

臨時議会

副議長に 門内 巧氏 を選任



門内 巧 副議長



西坂 親 委員長



本田 新 委員長



山口 照雄 委員長

委員長 西坂 親
副委員長 山内 黙
委員員員員員 中村 幸男
井芹しま子

委員長 本田 新
副委員長 北畠 常博
委員員員員員 宮川 安明
渡邊 俊一

委員長 山口 照雄
副委員長 渡邊 俊一
委員員員員員 門内 巧
西坂 親

● 御船地区衛生施設組合議會議員
● 上益城消防組合議員
● 御船町甲佐町衛生施設組合議會議員
(ごみ処理)

井芹しま子
本郷昭宣

甲佐町議会改選後の初議会が、さる3月1日に招集され、まず議席の決定を行ない、次に議長、副議長の選挙の他、各常任委員会、議会運営委員会、一部事務組合議員、広域連合議會議員、議会広報編集特別委員会委員を選任し、新しく12人の議会構成のもとに新体制がスタートしました。

議会構成も新たに

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

議会運営委員会

監査委員

西坂 親
(議会選出)

委員長 本田 新
副委員長 本郷 昭宣
委員員員員員 山口 照雄
井芹しま子

議会広報編集特別委員会

● 上益城広域連合議會
議員
中村幸男
門内巧
西坂親
山内默

改選後の初議会で 議長に 中村幸男 氏



中村 幸男 議長

町民、町発展のうえに立つて、
甲佐町民の負託に応える

就任のごあいさつ

議長 中村 幸男

甲佐町議会の改選に伴い3月1日に行われました臨時議会におきまして、議員の皆様方の御推挙により、甲佐町の議長の要職に就くことになりました。

私は、本町議会議員として、いろいろな経験を積んできたつもりではありますが、まだ浅学非才であります。責任の重大さを痛感いたしております。

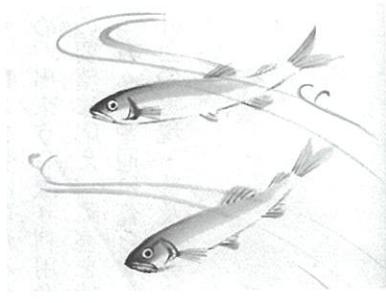
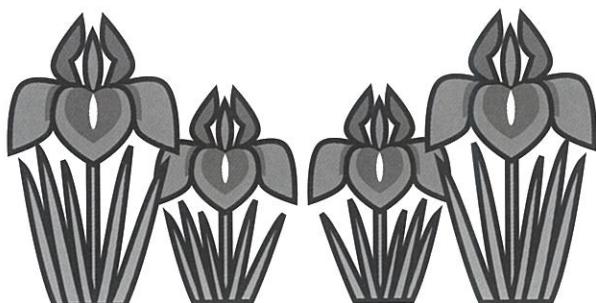
ここに議長を受けましたうえは、本町の発展と町民福祉の推進に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

我々議会といたしましては、いたずらに摩擦を起こすようなことは、もとより避けなければいけま

せんが、同時に安易な妥協に陥ることがあつてはならないと存じます。町民、町発展のうえに立つて、正しく相たずさえて、甲佐町民の負託に応えなければならないと考えております。

現在町は、行財政改革を積極的に進めています。福祉、教育、環境問題等も多くの課題が山積みしていますが、議員各位と一緒になって研鑽を重ね努力をしてまいりたいと思います。

町民の皆様におかれましても、より一層のご指導とご協力をお願ひ申上げまして、議長就任のご挨拶といたします。



45億9937万円を可決

新年度予算編成方針

将来を見据えた継続可能な財政構造と予算の質の向上 行財政改革の確実な実行

平成19年第1回定例会は、3月12日から16日までの5日間の会期で開催されました。本定例会では、平成18年度の各会計補正予算、平成19年度の一般会計及び特別会計予算の審議をはじめ、人事案件、条例案件などの議案を原案のとおり可決しました。また、平成12年度の町道大町塔ノ木線排水路工事に伴う建物補償費1,500万円の根拠が明確でないと認められるとして、建物補償調査特別委員会が設置されました。なお、一般質問には、5人の議員が登壇し町政全般にわたり質問しました。



用水路清掃



花いっぱい



農用地の草刈



農道の草刈

農地・水・環境保全向上対策事業

町長の行政報告

●職員の分限処分に係る不服申し立て事案の状況について

本件は平成17年6月に町職員を課長職から参事職へ降任処分を発したところ、被処分者が、この処分を不服として熊本県人事委員会へ不服申立書を提出した。

町は、弁護士を代理人とし、口頭審理、証人尋問などが行われたが、人

事委員会の裁決結果は『処分序甲佐町長は平成

17年6月8日付けで行った申立人に対する分限処分は、これを取り消す。』であった。私が主張してきた処分が事実においては認めてあるが、降格処分はその合理性において許容される限度を超えた不当なものというべきであつて、裁量権の行使を誤った違法・不当なものであるとのことだつた。

今後は、弁護士と相談し対処する。

●2月27日の火災について

その詳細が上益城郡消防組合から連絡があつたので報告する。

火災の発生場所は、甲

佐町上早川1945番地。

原因是、敷地内焼却炉からの引火で、被害は共同畜舎木造スレート葺平屋建1棟、面積490m²で全焼であった。

●甲佐町障害者計画と障害福祉計画について

平成18年4月に『障害者自立支援法』が施行された。この障害者計画は町の障害保健福祉の推進

の基本計画であり、計画期間は平成23年までの5カ年とするものである。

障害福祉計画は、障害者自立支援法に基づく計画であり、平成20年度までを第1期、23年度までを第2期とするものである。

計画策定には、障害者手帳の交付を受けておられる方830名すべてにアンケート調査を実施し、537名の回答を得て、実態の把握に努めた。

その結果に基づき、計画策定委員会で策定を進め、精神障害者の家族が抱える生活課題等についても検討課題の洗い出しを進めた。

障害者の方々が、各種サービスを受けられるため、出来うる限り利用者の要望に応え、障害を持つ方が普通に暮らせる社会の実現・普及に努めていく。

平成19年 3月定例会

平成19年度 一般会計予算

平成19年度一般会計予算

歳入総額 45億9,937万円

	前年度から の伸び率
町税	9億0,557万円 19.4%
地方譲与税	7,300万円 △52.3%
利子割交付税	200万円 33.3%
配当割交付金	150万円 200.0%
株式等譲渡所得割交付金	150万円 999.9%
ゴルフ場利用税交付金	1,000万円 △23.1%
地方消費税交付金	1億0,000万円 0.0%
自動車取得税交付金	2,500万円 8.7%
地方特例交付金	820万円 △55.7%
地方交付税	17億5,000万円 9.4%
交通安全対策特別交付金	150万円 0.0%
分担金及び負担金	8,200万円 7.4%
使用料及び手数料	3,518万円 △2.3%
国庫支出金	4億4,926万円 21.7%
県支出金	3億3,129万円 12.7%
財産収入	544万円 91.5%
繰入金	2億4,059万円 △16.5%
繰越金	5,000万円 0.0%
諸収入	9,835万円 △10.4%
町債	4億2,900万円 △47.9%

歳出総額 45億9,937万円

	前年度から の伸び率
議会費	8,209万円 △14.3%
総務費	7億0,828万円 11.3%
民生費	10億6,699万円 0.8%
衛生費	7億1,920万円 4.2%
農林水産業費	1億4,991万円 △18.0%
商工費	3,043万円 5.4%
土木費	5億2,757万円 77.9%
消防費	2億0,155万円 △70.8%
教育費	3億6,114万円 4.0%
公債費	7億4,222万円 9.0%
予備費	1,000万円 0.0%

一般会計予算

新年度予算

平成19年度一般会計予算是、45億9,937万円で前年より1億1,930万円の減となりました。減の要因は、防災行政無線の設置が完了したことによるものです。主な事業は次のとおりです。

- 総務費 ○ 嘱託員報酬 1,752万円 ○ スマートインターチェンジ基礎調査事業負担金 120万円 ○ 区行政運営交付金 1,392万円 ○ 住民健診委託料 5,134万円
- 衛生費 ○ 乳幼児医療費助成費 891万円 ○ 淨化槽設置整備費補助金 2,753万円 ○ 分団等運営交付金 3,133万円
- 消防費 ○ 道路維持費 2,891万円 ○ 道路新設改良費 4億3470万円 ○ 老人保健特別会計 20億6,21万円で前年より1億9,768万円の増
- 土木費 ○ 業務委託料 1,000万円 ○ 耐震改修促進計画等策定業務委託料 1,000万円 ○ 道路新設改良費 4億3470万円 ○ 公債費 ○ 元利償還額 7億4,222万円 ○ 別会計 1億3,602万円で前年より30万円の増
- 教育費 ○ 奨学生奨学費補助金 114万円 ○ 学校建設費 7,995万円 ○ 甲佐町体育協会補助金 323万円 ○ 10マイル公認ロードレース大会負担金 3,200万円
- 農林水産業費 ○ 中山間地域等直接払交付金 10,51万円 ○ 生産組合農機具導入等補助金 4,000万円 ○ 農地・水・環境保全向上対策事業補助金 9,380万円 ○ 商工会補助金 4,000万円 ○ 観光協会補助 3,800万円 ○ 土木費 ○ 元利償還額 7億4,222万円 ○ 別会計 1億3,602万円で前年より30万円の増
- 民生費 ○ 緊急通報体制等整備事業委託料 2,890万円 ○ 上益城障害者相談支援事業委託料 4,690万円 ○ 重度心身障害者医療費助成、更生医療給付費、介護給付・訓練等給付費、日常生活用具給付費等の扶助費
- 介護保険特別会計 ○ 有線放送特別会計 ○ 住宅新築資金等貸付特別会計 ○ 水道事業会計 ○ 条例改正

万円

● 農林水産業費

● 教育費

● 介護保険特別会計

● 有線放送特別会計 ● 住宅新築資金等貸付特別会計 ● 水道事業会計 ● 条例改正

○ 奨学生奨学費補助金 114万円 ○ 学校建設費 7,995万円 ○ 甲佐町体育協会補助金 323万円 ○ 10マイル公認ロードレース大会負担金 3,200万円

○ 奨学生奨学費補助金 114万円 ○ 学校建設費 7,995万円 ○ 甲佐町体育協会補助金 323万円 ○ 10マイル公認ロードレース大会負担金 3,200万円

○ 奨学生奨学費補助金 114万円 ○ 学校建設費 7,995万円 ○ 甲佐町体育協会補助金 323万円 ○ 10マイル公認ロードレース大会負担金 3,200万円

○ 緊急通報体制等整備事業委託料 2,890万円 ○ 上益城障害者相談支援事業委託料 4,690万円 ○ 重度心身障害者医療費助成、更生医療給付費、介護給付・訓練等給付費、日常生活用具給付費等の扶助費

○ 緊急通報体制等整備事業委託料 2,890万円 ○ 上益城障害者相談支援事業委託料 4,690万円 ○ 重度心身障害者医療費助成、更生医療給付費、介護給付・訓練等給付費、日常生活用具給付費等の扶助費

○ 老人保健特別会計 20億6,21万円で前年より1億9,768万円の増

ここが 知りたい

Q & A



消防点検での一斉放水

3月定例会質疑より

非常勤消防団の確保は

Q 非常勤消防団員の確保は、定数に足りているか。

A 毎年6月議会の時点で確定している。団員確保については、消防本部を通じて団員確保に準備を進めている。現在526名である。団員確保についても、消防本部を通じて団員確保に準備を進めている。

農業用施設災害復旧費の減額はなぜか。

Q 農業用施設災害復旧費の工事費が減額になっている。国県の補助事業でもあり、また公共事業が少なくなっている中どうしてか。

A 災害が発生し、事前打ち合わせでは工事予定であったが、受益者負担金があるため辞退されたために減額となつた。



町有林はどれ位あるか。 財産となるか。

Q 町有林の面積・蓄積量は?

A 森林国営保険の対象面積が30ヘクタールある。杉が40～59年生、桧が52年生で加入している。蓄積量について19年度で調査を行いたい。

緊急通報体制は

Q 緊急通報は何戸ぐらい設置されてあって、将来的には何戸の目標か。独居老人の戸数は。

A 平成19年2月現在で98台設置されている。本年は4～5台を考



手蝶山の甲佐町町有林

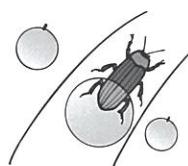


早期改修が望まれる県道三本松甲佐線の上豊内地内

A 県道は家が密集しているため県ではバイパス案で地元に説明されている。旧中央公民館から築の方向に改良され

Q 県道三本松甲佐線の改良工事進捗は。進行状況は。

ているが、その改良が終わっている所から上豊内公民館の横を通り築の手前で接続するという案で、地権者の同意を得られて測量中である。



Q 防水水槽の設置は今後も事業継続されるのか。

A 甲佐町の場合は、設置基準数が221基である。現在の設置数は166基であり充足率75・11%である。今後も消防水利が不足する部分について、補助制度を活用し整備していく。

防水水槽の設置は



A 町史は何年度を目途に完成予定か
Q 19年から22年までの4カ年で計画している。

町史編集は

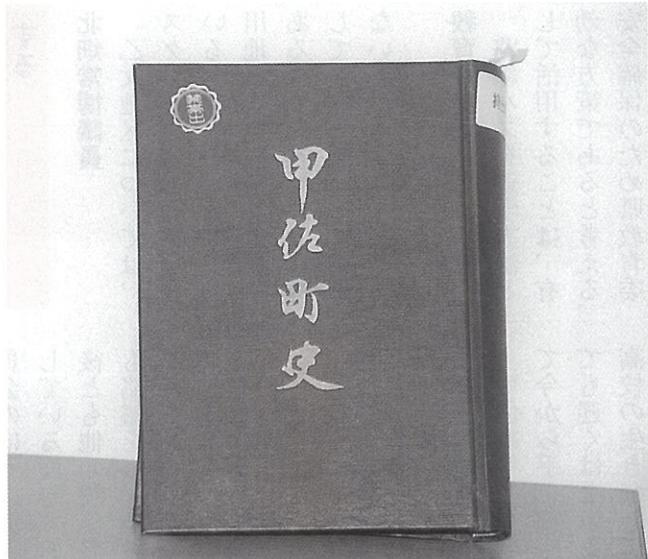
国保ヘルスアップ事業とは

Q 国保ヘルスアップ事業が新規で始まる

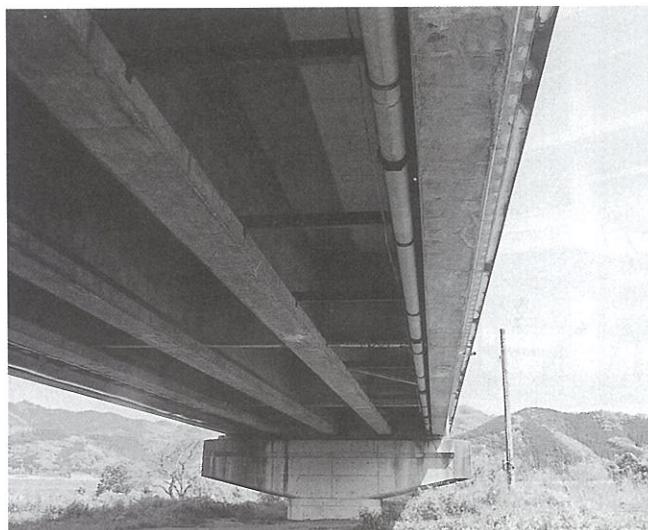
が

A 平成20年度から保険者に義務化される

特定健診、特定保健指導への円滑な移行及び増加する医療費の抑制を図るためメタボリックシンドローム改善の各種取組を検診機関等に委託して行う。



昭和41年に発行された甲佐町史



安津橋 橋台下の水道送水管

A 具体的な計画はないが、水量調査をやっているのでその結果で判断していく。乙女地区には二つの橋を通って給水しており、万が一災害で給水できなくなつた場合等を考えると確かに必要な施設である。

Q 水源地を乙女地区に設ける計画はあるか。

乙女地区に水源地計画は

一般質問 と答弁



設置中の合併浄化槽

北 畑 常 博 議 員

十方式をとり入れたほうが
自然に良いのではない
か。

合併浄化槽の補助金について 3種類の補助金を出している

北畠常博議員

助金をだしてます。

甲佐町には、合併浄化槽の補助金があるが三段階に分けられる内容と分けたについて聞きたい。

甲佐町では、5人槽、7人槽、10人槽と3種類の補助金をだしてます。容量決定については社団法人情報サービス協会の建築用途別処理対象人員算定基準表で容量が決定される。

保健衛生課長

本町では浄化槽の設置に関して、5人槽、7人槽、10人槽と3種類の補助金をだしてます。

北畠常博議員
自然環境ということを重視するならば、四万円をだしてます。

町長
今、合併浄化槽を中心には進めてる。いろいろ要望があることも知っているが、財政改革で非常に財政が厳しい時代で、新しい事業をするということについては、まだ具体的に入ってない。

スクールバスの利用について 今後とも協議し検討する

北畠常博議員

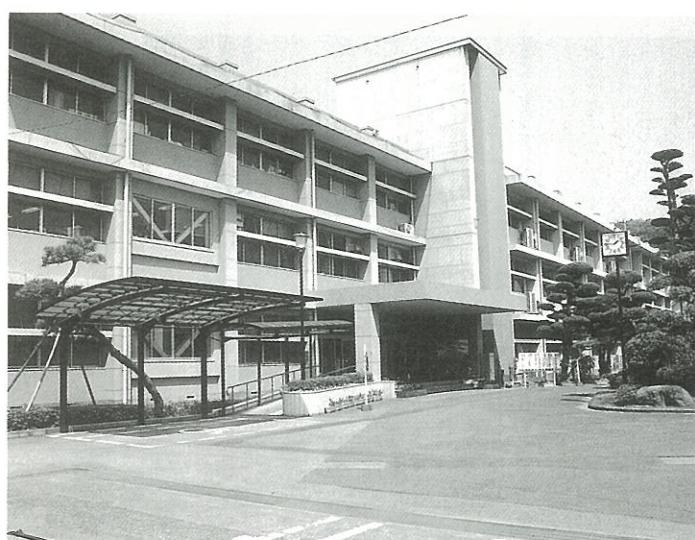
乙女地区については、スクールバスを利用してますが、吉田、芝原、早川地区については距離があるので熊本バスと連携してスクールバスに出来ないか。

甲佐高校の存続について
基本計画の素案には
入ってない

教育長
所管課は県の教育委員会であるが、県立高校再編の整備計画については、素案が出されている段階である。県立高校の通学区域とか、再編整備に関する基本計画の素案である。その計画の中に、甲佐高校については統廃合の計画は入っていない。

教育長
路線バスを通学方法として活用することは、有効な方策であると考える。安全確保のため県教育委員会

北畠常博議員
甲佐高校の存続について今から手を打つておいても遅くはないと思うが高校の生き残りについて



甲佐高校の統廃合は

本田 新議員

PTA活動にもっと支援を
家庭の教育力を高めたい

定期的に土壌診断を
長期連作によりイヤ地現象

**職員削減による行政サービスの低下を抑えるには
再任用と新規採用を講じたい**

本田 新議員



減少する職員計画

行政改革の一環として職員の定員削減がいま行われている。ここ5年間は、職員の採用はせず、退職者の定数減から、退職者の定数減からの110名体制への移行という計画であるが、行政サービスの低下を抑えるためにどのような対応を考えているか。



PTA活動風景

町長
町づくりの基本は、やはり教育である。このことは人口増減にも影響してくる。予算について、今後十分検討をさせていただきました。

町長

単純に職員数を削減することは、行政サービスの低下を招くが、公共施設の廃止や、民営化、民間委託を図りながら、職員の有効的な配置・組織機構の再編等により対応したい。

豊富な経験や資格を有する退職者など、専門的な人材を再任用することや

近年中途退職者が相当出でいるので補う意味で平成19年度は2名、平成20年度は

2~3名の新規採用を行うことでスムーズな行政運営を図りたい。

本田 新議員
PTAの活動は、この数年、学校、家庭、地域が連携し子どもを育てようと盛んに活動してきた。その中で、家庭教育の充実が最も大切であると思う。この点に対する町の認識は。

単純に職員数を削減することは、行政サービスの低下を招くが、公共施設の廃止や、民営化、民間委託を図りながら、職員の有効的な配置・組織機構の再編等により対応したい。

豊富な経験や資格を有する退職者など、専門的な人材を再任用することや近年中途退職者が相当出でいるので補う意味で平成19年度は2名、平成20年度は

2~3名の新規採用を行うことでスムーズな行政運営を図りたい。

でいきたい。
新たな取組みとして、教育フォーラムを実施したり、平成9年度より本

町では養護部会で、家庭

生活の見直し、歯科保健の向上の取組みや心の健康問題なども家庭に訴えている。

農業の基本である土壤作りを進めるために定期的な土壌診断を推進させることは重要であると思うが、それに対する町の考えは。

農業振興を目的に土壤改良ができるが、豊内地区で集団的に認識している。

本田 新議員

近年県の普及センターが、豊内地区で集団的に土壌診断を行ったところ

農産物のブランド化を目指すうえで、連作障害は避けは通れない。

本田 新議員

農業振興を目的に土壤改良ができるが、豊内地区で集団的に土壌診断を行ったところ

本田 新議員

農産物のブランド化を目指すうえで、連作障害は避けは通れない。



緑肥として利用されているレンゲ畠

産業振興課長
電照菊の生産は、衰退の一途をたどった。その

原因が、価格の低迷、経営の不安定もあるが、土壌改良ができないことも影響してくる。予算については、今後十分検討をさせていただきました。

町長

農業の基本は土壌づくりである。堆肥作りについても視察研修を予定している。今後、行政としても土壌診断について検討したい。

山口照雄議員

入札は業者間の話し合いで決まっていると聞いているが
法及び措置要領に基づき厳正に対処する

農機具利用組合への不適切な支出の監査報告について

具体的な検討はまだ行っていない

山口照雄議員

前回の臨時会で農機具利用組合に対し不適切な支出があつたと監査委員から報告があつたが、現在どのように処理したか。

山口照雄議員

不適切という指摘があつたにもかかわらず、対策をしてないとはどういうことか。

現在どのように処理したか。

町長

どうするかということこの件については、まづ具体的な検討は行つてやつていく。

町長

どうするかといふところまでまだ話す機会がなかつたが、それを早急にやつしていく。

町長

入札については、地方自治法施行令及び甲佐町工事等請負委託契約にかかる指名停止等の措置要領に規定する行為が発生

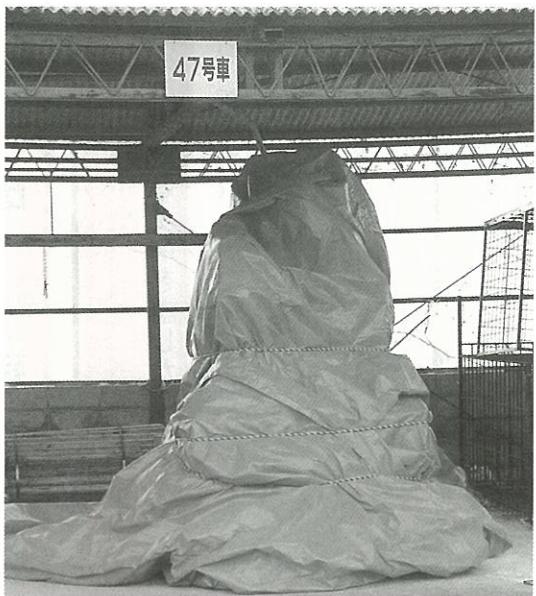
総務課長

国機関の公正取引委員会に情報を提供し、然るべき調査をお願いすることになる。また、手続きについては弁護士と相談しながら進めていく。



建物補償調査特別委員会

山口照雄議員
その損失の箇所を写真に撮れなかつたのでは。



旧役場車庫に保管中の粉摺り機

平成13年の建物補償金1500万円について

具体的な答弁ができない状況だ

山口照雄議員

1500万円の補償金はどういう形で出ているのか。

建設課長

壊した。これにより損害を受けた建物調査のため不動産鑑定を行つた。この報告書を受けて建物の建て替えて補償をした。

当時助役であったが、担当課から報告があり、不動産鑑定士に評価を頼んでいればその通りと思つた。

平成13年の1月に入札が行われた町道大町塔ノ木線排水路工事において、工事中に既設の擁壁が倒

山口照雄議員
報告書に建物の被害が写つているのか。

当時助役であったが、担当課から報告があり、不動産鑑定士に評価を頼んでいればその通りと思つた。

町長
なかなか当時のことで、具体的な答弁ができない。

●この問題に対し、町長が答弁できないとのことで全員協議会が開かれ、13ページに掲載されている100条委員会に委任すると結論に至つた。

か。

その損失の箇所を写真に撮れなかつたのでは。
町長は確かに答弁できなかった。町長が答弁できないとのことで、具体的な答弁ができない。

井 芹 しま子 議 員

議員の町税滞納問題について

滞納が続ければ差押さえする

井芹しま子議員

情報公開条例に基づく
開示請求で、改選前の議員の中に、国保税をはじめ、町税を滞納している議員がいることが明らかになつたが、改選後の議員の中にも、町税を滞納している議員はいるのか、また、滞納額はいくらか、明らかにしていたきた

を進めている。

議員の中には、改選前の議員の中に、国保税をはじめ、町税を滞納している議員がいることが明らかになつたが、改選後の議員の中にも、町税を滞納している議員はいるのか、また、滞納額はいくらか、明らかにしていたきた

を進めている。

介護保険料・利用料の引き下げについて 制度化の為、国に要望していく

井芹しま子議員

独自の町民アンケートの結果、約八割の方が介護保険料・利用料が高いと回答されている。

介護保険の利用状況はどうなつていてか。

福祉課長

65歳以上の18・2%が認定を受けており、認定

者81%程度が、何らかのサービスを受けている。

厚生労働省は、2006年度の国保税滞納世帯が、前年より10万世帯増えて480世帯になったと発表した。

格差と貧困の拡大の中で、甲佐町も同じような状況が進んでいるのではなかいか。甲佐町の滞納状況はどうなつていてか。

井芹しま子議員

議員の滞納問題に対し

て、これまでどのように対処してきたのか。今後どのように対処していくのか。

町長

滞納が續けば、差押さえをする。すでに、準備

井芹しま子議員

元住民課長の4階級降格处分の発端は「人権問題」だったのか、「町議の国保税滞納を指摘したから」だったのか……。

(この後、懲罰動議が出され、質問は中断。)

井芹しま子議員

介護認定を受けながら、軽減をして、必要な介護サービスを受けられるようすべきではないか。

町長

甲佐町だけで引き下げるのは難し

い。全国的な要望を国に對して行い、制度を作つてもらうようにしなければならないと思う。

保険料・利用料の免除・軽減をして、必要な介護サービスを受けられるようすべきではないか。

福祉課長

第4期、第5期の介護

現段階では、引き下げは見合わせたい

国民健康保険税の引き下げについて

井芹しま子議員

65歳以上の国保税滞納世帯の国保財政調整基金はどうなつていてか。

円となつていて

井芹しま子議員
過去に1億数千万円の積立て金があつたが、インフルエンザが流行ったとき、1億数千万円の積立金がまたたく間に減つて、増税をした。今の段階では、引き下げを見合わせたい。

町長

一世帯あたり1万円の引下げはすべきだ。



オープンした桜の丘「綾の家」

保険料も考えていい

かなくてはならな

い。今の段階では、引下げは難しい。



家族みんなで健康づくり
すこやか こくほ

井芹しま子議員

それはいつのことか。

岩永税務課長

16年度 1億1561万
4000円、17年度末は 1億2238万4000

甲佐の国保加入世帯は、
2700世帯、1世帯あたり8万1000円預金があるということになる。

町長

今、記憶はない。

本郷昭宣議員

農家の自立のため十分検討したい

本郷昭宣議員

今年より農業政策として、品目横断的経営安定対策事業、農地・水・環境保全向上対策事業、新しい米生産調整事業の三事業が始まるが、當農組合を設立しなければ麦、大豆については二、三千円という安価な価格でし



品目横断的経営安定対策事業の
対象品目となる麦



農家の減少、高齢化に直面して集落當農組織への取組が必要。農家の自立のために何ができるか十分検討したい。今年は話し合いのための経費として予算化している。

商店街の活性化を

商店街の活性化を

町長

新しい農政が今年から

か買入れされないということで、昨年から組織化を呼びかけてこられたが、設立された組合に対する指導育成、助成はどうされるか。

本郷昭宣議員

商店街を歩いてみますと空店舗や空洞化が見られる。都市や郊外に量販店や大型商業施設ができるが、しかし甲佐町の個々の店も大型店にできないようなサービス等もある、町、商工会、商店主、消費者等を交えて活性化に向けての協議会等をつくられて活性化を模索されてはどうか。

當農組合が六組合、認定農家グループが一グループ設立されている。



商店街の活性化は

農家の減少、高齢化に直面して集落當農組織への取組が必要。農家の自立のために何ができるか十分検討したい。今年は話し合いのための経費として予算化している。

當農組合の強化を

農家の自立のため十分検討したい

町長

商店街の空店舗や空洞化については非常に心配している。よそにない店づくり、工夫や独自色を



生かした店づくりが必要。話し合いの場をつくり、問題を出し合って市街地づくりやビジョンづくりを検討したい。商工会と連携して行きたい。

本郷昭宣議員

協働のまちづくりについて、甲佐町行財政改革大綱に示されておるよう、協働のまちづくり推進は重要なことである。このことは住民の方々の理解を得なければ推進はできない。しかしながら解されておられない気がする。今までどう周知されたか、今後はどうされるか。

企画調整課長

今まで、校区座談会、講演会、広報で周知した。今後も座談会・研修会、シンポジウム、広報等で理解をいただくための周知を図る。

団体や行政が適切な役割を

住民と地域、企業等の

甲佐町議会議員の倫理に関する決議

3月定例会の2日目冒頭に、西坂議員、本田議員から甲佐町議会議員の倫理に関する決議案が提出され、賛成多数で可決された。

甲佐町議会議員の倫理に関する決議

去る2月11日熊本日日新聞にて、本町議会議員の町税等滞納問題が報道され、これが議員改選告示日を2月13日にひかえた時期にあつたため、現職候補者にとつては、町民有権者の多大なる不信、怒りをとともに受けた選挙結果となり、甚だ遺憾であると同時に、議員として政治倫理を重んじ、その使命遂行に努めている諸氏にとつて、この報道は選挙妨害的行動と認識せざるを得なく、強く抗議の念を感じるところである。

しかし、現時において、本町議会としては、連帶責任として係る事態を重く受け止め、これを反省し、議員個々が厳しく襟を正し、町民の議会に対する信頼回復に全力を傾注すべきであり、その目的に向けて次の事項を決議する。

- 1 私達議員は、平成7年1月9日付け甲佐町議会訓令第1号（甲佐町議会議員政治倫理要綱）を再確認し、これを遵守する。
 - 2 私達議員は、議員たる立場を重んじて、国民の三大義務すなわち勤労、教育、納税の一つである納税（町税等の納付金）については、月毎に支給される議員報酬より差し引き徴収され、その残額について受給することを承諾する。
- 以上決議する。

平成19年3月13日

甲佐町議会

建物補償調査特別委員会の設置

平成12年度町道大町塔ノ木排水路工事において、隣接宅地の擁壁が倒壊し、その宅地の建物補償費として1500万円が支払われた件について、その補償費の根拠が明確でないと認められるとして、『建物補償調査特別委員会』が設置された。

本議会は、この調査のため、地方自治法第100条第1項の権限をこの委員会に委任した。委員は次の9人で構成された。

委員長	山口照雄
副委員長	門内常巧
委員	北畠博
委員	井川安俊
委員	宮邊明
委員	本田新
委員	山西親
委員	坂井
委員	畠勲

平成19年度第1回臨時会

3月13日の井芹しま子議員の一般質問において、一般質問通告書に記載されていない件及び不穏的な発言があるとして、懲罰動議が提出された。議会では懲罰特別委員会を設置し、慎重に審議した結果、井芹しま子議員に対し、3月定例会においての3日間の出席停止と決定した。

懲罰



報告の最後まとめで「本件を総括的に見た場合、地方公共団体においては、最小の経費で最大の効果を上げることを原則としているが、住民福祉の目的として公金の一部を団体に支出している補助金についてもその原則にあり、その補助金を受ける団体においても同様である。行政執行における検討を望む」とされた。

いたは、予期せぬ事態等もあり事務執行に戸惑いがあったかとは思われるが、今後とも関係職員の一層の努力と適正なる事務処理を要望する。また、現在役場庁舎車庫に保管されている粉摺り機及び麦播種機については、そのまま保管して置くものどうかと思われるので、小規模零細地域営農確立対策事業の目的である地域の特性を生かした効率的な農業経営を実現させるためにも、早急に再利用の検討を望む」とされた。

傍聴席から一言

町政に望むこと



豊内 佐野よし子

最近2軒の農家（花卉農家）が離農されたことを人づてに聞いた。どちらも、主（あるじ）が高齢になつたための離農ではない。30代、40代の働き盛りで、しかも後継者もいての離農である。今、花卉営農は厳しいと聞く。日々の生活のなかで家中に花を飾ることは暮らしの彩りである。しかし、それとて、人々の暮らしに余裕があつてのことである。ちまたでは、景気の回復が言われているが地方においてはまだその実感はない。長引く不景気のもとでは、どうしても生活必需品の購入に優先順位がついてしまう。「花、きれいだけど、辛抱しとこう。」となる。さらに農産物の輸入自由化で、外国から、どんどん花も入ってきて、花作り農家にとっては、二重の追い打ちがかけられる。こうなると、個々の農家の努力では、限界は見えてくる。

農業は甲佐町の基幹産業である。町としても、ぜひ、こういった農家の皆さんの営農に対するなんらかの施策を講じて欲しい。さらに、一自治体の農業保障政策だけでは、問題の根本の解決にはならないこともあると思うので、大本（おおもと）の国の農業政策に対しても、大いなる改革を地方から発信していくほしいものである。

おめでとう

全国議長会、熊本県議長会表彰

さる3月定例会の開会日に、全国町村議長会並びに熊本県町村議長会の永年勤続表彰状の伝達式が行われた。

全国町村議長会からは、町村議會議員として15年以上在職し功労のあつた方として、中村幸男議長、境国嗣前議員、奥名克美前議員の3名の方、熊本県議長会からは副議長として在職7年以上で功労のあつた方として岩村辰雄前議員、並びに町村議會議員として在職23年以上で功労のあつた方として北畠常博議員、同じく在職15年以上で中村幸男議長、境国嗣前議員、奥名克美前議員が表彰を受けられた。



受賞された5人

編集後記

否めない。

しかし、この選ばれた議員で、町と共に行財政改革を更に『前進』させ、町民の方々の安心・安全のため、議会において十分議論を重ねていかねばならない。

今年は亥年である。猪といえは『猪突猛進』ということわざが思い浮かぶところであるが、甲佐町においても『前進』できる年にしたいものである。

2月の町議会選挙において議会の定数が12名となり、以前と比べ議場の風景を見る限り、やはり少なくなつたという感は

議会広報編集委員会

委員長	本田 新
副委員長	本郷 昭宣
委員	山口 照雄
ク	宮川 安明
井芹しま子	

人事案件

○甲佐町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

現委員安達満雄氏の任期満了に伴い、新たに委員として甲佐町大字下横田222番地の酒井信男氏が選任され、全会一致で同意された。



酒井信男氏